調386- (3) - 3

第386回地震調查委員会資料

〈目 次〉

٠	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果(2023年4月01日-4月30日) ・・・・・	$\cdot \cdot 2$
٠	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況(2023年4月)	13
٠	四国の深部低周波微動活動状況(2023年4月)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
٠	日向灘及びその周辺域における超低周波地震活動(2023年4月-5月)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
٠	2023年5月5日石川県能登地方の地震DD法による震源分布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
٠	2023年5月5日石川県能登地方の地震の震源過程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18

令和5年5月12日





₩₩₩ 防災科研

広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果 (2023 年 04 月 01 日-04 月 30 日)

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

期間中のイベント数:94

・千	島列島							
40)	千島列島	(04/14 06:07 Mw4.5 H_20km VR78.5	4/3)北西一南東圧縮の逆断層					
・北海道地方								
13)	釧路沖	$(04/05 \ 00:15 \ Mw4.1 \ H_56km \ VR52.1$	6/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層					
16)	択捉島付近	(04/06 13:10 Mw4.6 H_86km VR84.4	0/3)北北西一南南東伸張の正断層					
29)	十勝沖	(04/12 00:38 Mw4.4 H_95km VR77.1	2/3)北北東一南南西方向に伸長軸を持つ型					
76)	択捉島付近	(04/27 07:27 Mw4.1 H_68km VR64.8	4/3)西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型					
84)	浦河沖	(04/28 16:45 Mw4.2 H_53km VR83.0	7/3) 西北西―東南東圧縮の逆断層					
・ 東	北地方							
1)	青森県東方沖	(04/01 00:29 Mw4. 7 H_38km VR75. 2	9/3) 東西圧縮の逆断層					
2)	宮城県沖	(04/01 04:33 Mw4.1 H_44km VR95.0	0/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層					
36)	福島県沖	(04/12 17:45 Mw4.0 H_47km VR88.4	2/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層					
39)	福島県沖	(04/13 09:55 Mw4.1 H_23km VR80.8	5/3)北西一南東圧縮の逆断層					
43)	岩手県沖	(04/15 11:40 Mw4.2 H_50km VR88.2	6/3)北北西一南南東圧縮の逆断層					
48)	福島県沖	(04/17 02:25 Mw4.6 H_44km VR89.5	6/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層					
72)	岩手県沖	(04/25 22:31 Mw4.1 H_47km VR87.4	8/3) 南北圧縮の逆断層					
73)	福島県沖	(04/26 02:49 Mw4.1 H_59km VR88.0	6/3)北西一南東方向に圧縮軸を持つ型					
▪関	東・中部地方							
4)	新潟県沖	(04/01 18:41 Mw4.6 H_11km VR90.7	2/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層					
7)	茨城県沖	(04/02 13:14 Mw4.1 H_17km VR77.2	5/3) 西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型					
19)	茨城県沖	(04/07 21:46 Mw4.0 H_74km VR80.2	5/3) 西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型					
21)	遠州灘	(04/08 02:22 Mw4. 0 H360km VR83. 0	2/3) 東西圧縮の逆断層					
31)	千葉県北西部	(04/12 05:10 Mw4.0 H_68km VR82.1	9/3) 東西圧縮の逆断層					
87)	房総半島南東沖	(04/29 03:04 Mw4.2 H_47km VR66.3	1/3)東西方向に圧縮軸を持つ型					
94)	千葉県東方沖	(04/30 21:21 Mw4.3 H_41km VR86.2	1/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層					
• 小	笠原地方							
11)	父島近海	(04/04 16:07 Mw4.9 H_56km VR59.9	9/3)北北東一南南西方向に伸長軸を持つ型					
33)	父島近海	(04/12 06:02 Mw4.4 H_5km VR76.7	5/2)東北東一西南西圧縮の逆断層					
56)	鳥島近海	(04/19 16:11 Mw4.4 H_71km VR80.5	2/3)北東一南西方向に伸長軸を持つ型					
70)	父島近海	(04/24 09:19 Mw4.7 H_8km VR60.4	8/3)北北東一南南西伸張の正断層					
・九州地方								
12)	種子島近海	(04/04 23:00 Mw4. 2 H_32km VR60. 9	2/3)北西一南東圧縮の逆断層					
58)	種子島東方沖	(04/20 23:50 Mw4.5 H_5km VR56.6	2/3) 東西伸張の正断層					
59)	種子島東方沖	(04/21 03:25 Mw4.7 H_5km VR56.6	9/3)西北西一東南東伸張の正断層					
60)	種子島東方沖	(04/21 16:38 Mw4.4 H5km VR70.8	3/3)西北西一東南東伸張の正断層					
64)	種子島東方沖	(04/22 08:46 Mw4.5 H_5km VR53.2	4/3)西北西一東南東伸張の正断層					
65)	種子島東方沖	(04/22 10:00 Mw4. 7 H_5km VR57. 4	4/3) 東西伸張の正断層					

66)	種子島東方沖	(04/22 10:33	Mw4.6 H5km	VR60. 98/3)	西北西一東南東伸張の正断層		
68)	種子島東方沖	(04/22 23:06	6 Mw4. 0 H5km	VR51. 29/3)	西北西一東南東伸張の正断層		
・沖縄地方							
20)	東シナ海	(04/08 00:49	Mw4. 4 H_59km	VR65. 92/2)	南北方向に圧縮軸を持つ型		
25)	台湾付近	(04/09 14:13	8 Mw4. 5 H_32km	VR79. 92/2)	北西一南東伸張の正断層		
27)	与那国島近海	(04/10 03:45	Mw4. 9 H_53km	VR71. 00/2)	南北圧縮の逆断層		
41)	台湾付近	(04/14 12:54	Mw4.1 H5km	VR77. 12/2)	北北西一南南東方向に圧縮軸を持つ型		
45)	東シナ海	(04/16 20:11	Mw4.5 H8km	VR78. 56/3)	北西一南東伸張の横ずれ断層		
50)	台湾付近	(04/17 04:17	Mw4.0H5km	VR75. 66/2)	北北西一南南東方向に圧縮軸を持つ型		
51)	台湾付近	(04/17 17:49	Mw4. 2 H_35km	VR83. 29/2)	北北西一南南東圧縮の逆断層		
52)	台湾付近	(04/18 04:33	8 Mw4. 1 H_44km	VR83. 05/2)	北西一南東方向に圧縮軸を持つ型		
54)	与那国島近海	(04/18 10:23	8 Mw4. 0 H_20km	VR82. 66/2)	北北西一南南東圧縮の逆断層		
61)	台湾付近	(04/21 20:44	Mw4. 2 H_53km	VR69. 56/2)	西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型		
62)	与那国島近海	(04/22 01:09	Mw4.6 H101km	VR95. 68/2)	北北西一南南東圧縮の逆断層		
63)	与那国島近海	(04/22 06:10	Mw4. 3 H_20km	VR97. 81/2)	北北西一南南東圧縮の逆断層		
71)	台湾付近	(04/24 22:35	Mw4.3 H5km	VR79. 32/2)	北北東一南南西伸張の正断層		
77)	沖縄本島近海	(04/27 16:41	Mw4. 3 H_23km	VR75. 96/3)	北西一南東圧縮の逆断層		
78)	沖縄本島近海	(04/27 16:43	Mw5.3 H_17km	VR67. 93/3)	北西一南東圧縮の逆断層		
79)	沖縄本島近海	(04/27 17:07	′ Mw4. 7 H_17km	VR64. 90/3)	北西一南東圧縮の逆断層		
80)	沖縄本島近海	(04/27 19:04	Mw4. 3 H_23km	VR69. 15/3)	北西一南東圧縮の逆断層		
82)	沖縄本島近海	(04/28 04:33	8 Mw4. 1 H_17km	VR69. 87/3)	北西一南東圧縮の逆断層		
83)	沖縄本島近海	(04/28 07:08	8 Mw4. 2 H_32km	VR55. 49/3)	西北西一東南東伸張の横ずれ断層		
85)	沖縄本島近海	(04/28 20:32	2 Mw4. 1 H_17km	VR66. 33/3)	北西一南東圧縮の逆断層		
89)	沖縄本島近海	(04/29 12:26	6 Mw4.6 H_17km	VR64. 24/3)	北西一南東圧縮の逆断層		
90)	沖縄本島近海	(04/29 12:31	Mw4.5 H_17km	VR60. 92/3)	北西一南東圧縮の逆断層		
91)	沖縄本島近海	(04/30 00:49	Mw4.7 H_17km	VR70. 09/3)	北西一南東圧縮の逆断層		
92)	台湾付近	(04/30 15:31	Mw4.3 H_53km	VR68. 64/2)	西北西一東南東圧縮の逆断層		

*Mw4.0以上をリストアップ.

**下線部はMw5.0以上を示す.

***" VR"欄の"/"の後の数は解析に使用した観測点数を示す.

****断層タイプの分類はFrohlich [1992]による.

謝辞 地形データは海上保安庁のものを使用させて頂きました. 記して感謝いたします



Hokkaido Apr 01,2023-Apr 30,2023(JST)



Tohoku Apr 01,2023–Apr 15,2023(JST)



Tohoku Apr 16,2023–Apr 30,2023(JST)



Kanto-Chubu

Apr 01,2023-Apr 15,2023(JST)



Kanto-Chubu

Apr 16,2023-Apr 30,2023(JST)



Kinki-Chugoku-Shikoku

Apr 01,2023-Apr 30,2023(JST)



Kyushu Apr 01,2023–Apr 30,2023(JST)



Okinawa Apr 01,2023–Apr 30,2023(JST)



紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2023 年 4 月)





図1. 紀伊半島・東海地域における 2003 年 5 月~2023 年 5 月 7 日までの深部低周波微動の時空間分布(上図). 赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法 (Maeda and Obara, 2009) およびクラスタ処理 (Obara et al., 2010) に よって 1 時間毎に自動処理された微動分布の重心である.青菱形は周期 20 秒に卓越する超低周波地震 (Ito et al., 2007) である.黄緑色の太線はこれまでに検出された短期的スロースリップイベント (SSE) を示す.下図は 2023 年 4 月を中心とした期間の拡大図である.3 月 25 日~4 月 9 日頃には三重県北部から愛知県西部で活発な微動活 動がみられた.この活動は三重県北部で開始したのち,プレート境界の浅部側への活動域の移動がみられた.さ らに北東方向への活動域の拡大がみられ,4月1日頃からは、愛知県西部において活動が開始した.この活動に際し, 傾斜変動から短期的 SSE の断層モデルも推定されている.4 月 22 ~ 24 日頃には三重・奈良県境付近において, 小規模な活動がみられた.5月3~5日頃には和歌山県中部において,ごく小規模な活動がみられた.



図2.各期間に発生した微動(赤丸)および超低周波地震(青菱形) の分布.灰丸は、図1の拡大図で示した期間における微動分布を示す.

防災科学技術研究所資料





図1.四国における2003年5月~2023年5月7日までの深部低周波微動の時空間分布(上図).赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法(Maeda and Obara, 2009)およびクラスタ処理(Obara et al., 2010)によって1時間毎に自動処理された微動分布の重心である.青菱形は周期20秒に卓越する超低周波地震(Ito et al., 2007)である.黄緑色太線は、これまでに検出された短期的スロースリップイベント(SSE)を示す.下図は2023年4月を中心とした期間の拡大図である.4月2~5日頃には、愛媛県東部において、やや活発な活動がみられ、東方向への活動域の移動が若干みられた.4月22~23日頃には香川・徳島県境付近において、4月25~27日頃には愛媛県中部において、5月5~6日頃には愛媛県東部において、それぞれ小規模な活動がみられた.4月11~12日頃および4月15日頃には愛媛・香川・徳島県境付近において、4月15~16日頃には豊後水道において、それぞれごく小規模な活動がみられた.



図2. 各期間に発生した微動(赤丸)および超低周波地震(青菱形)の分 布. 灰丸は,図1の拡大図で示した期間における微動分布を示す.

防災科学技術研究所資料

日向灘及びその周辺域における超低周波地震活動(2023年4-5月)





第2図.第1図と同じ期間内に検出された超低周波イベントの時空間分布.超低周波イベントを赤色の
 点で示す.(a)および(b)に緯度分布の,(c)および(d)に経度分布の時間変化をそれぞれ示す.また,
 (a)および(c)に2010年1月1日以降,(b)および(d)には2023年4月1日以降の分布をそれぞれ示す.

防災科学技術研究所資料

相関解析 [Asano et al. (2015)] によって検出された超低周 波イベントの震央分布.検出イベントを防災科研 Hi-net の手動 または自動験測震源と照合して通常の地震を除去した後に それ以外を超低周波イベントとして桃色(2023 年 3 月 31 日以 前),および赤色(4月1日以降)の点でそれぞれ示す.

2023年5月5日石川県能登地方の地震のDD法による震源分布

・2023年5月5日14時42分頃に能登地方においてMJMA6.5(気象庁暫定値)の地震が発生 ・余震は北東-南西に15km程度、北西-南東に10km程度の領域に南東傾斜で分布。 ・最大余震は本震の断層面よりも深いところで発生し、本震断層面と平行な面状に分布。



図1 2023年5月5日石川県能登地方の地震の震源域周辺における震央分布。右図矩形領域内の深さ 30km以浅の地震について防災科研Hi-net(自動処理を含む)の震源を、Matsubara et al. (2022)の 三次元地震波速度構造を領域内の厚さ3~5km毎に平均化した速度構造を利用し、波形相関データを 用いたDouble-Difference法 (DD法, Waldhauser and Ellsworth, 2000) により再決定した。色は 震源時を示し、5/5の14:00(赤)~21:57(緑)、21:57(水色)~5/9の12:00(紫)としている。





2023年5月5日石川県能登半島地方の地震の震源過程(暫定)防災科学技術研究所 🕺 💆 🕅 🕅

2023年5月5日14時42分頃に石川県能登半島地方で発生した地震(Mj 6.5; 気象庁)について、強震波形記録を用いた 震源インバージョン解析を行った。

- 記録: K-NET・KiK-net・F-netの14観測点における速度波形三成分のS波部分(0.1-0.5 Hz)
- 解析手法:マルチタイムウィンドウ線形波形インバージョン

(小断層2 km×2 km、0.8秒幅のタイムウィンドウを0.4秒ずらして6個並べる)

- 断層面設定:走向41°・傾斜56°(F-net MT解による)、大きさ16 km×16 km、破壊開始点は気象庁震源位置
 *ここで設定した断層面は解析の都合上仮定したものであり、必ずしも実際の断層面を反映しているわけではないことに留意
- 推定結果: M₀=2.4×10¹⁸ Nm(M_w 6.2)、最大すべり量1.1m、Vftw 2.4 km/s



18

主たる破壊は破壊開始点から西の方向へ進行した。

2023年5月5日石川県能登半島地方の地震の震源過程(暫定)防災科学技術研究所 🕺 💆 🕅 🕅

